

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月23日(金)

事務事業		一般廃棄物関係事業		担当課	環境衛生課	担当係	業務係	管理番号	40212	
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	3	人と自然にやさしいまちづくり	根拠法令 個別計画等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
	小項目	2	環境衛生の推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		・廃乾電池・蛍光灯等の有害ごみの処分を行う。・市民から直接搬入（不燃ごみ・資源物）される旧施設の受付業務及び深谷清掃センター等で使用する水源施設（櫛引水源）の維持管理を行う。・不法投棄物の回収、直接搬入されたごみを大里広域の処理施設等へ搬入するために使用する塵芥車両の管理を行う。・最終処分場の適正な維持管理及び地下水汚染の防止を図る。								
目的 ※何のために		ごみを適正に処理し環境保全を図るため。								
対象 ※誰・何を対象に		市民が排出する廃乾電池・蛍光灯等の有害ごみや市民が資源置場に直接搬入した燃やせないごみや資源物。								
手段 ※どのように		有害ごみについては、業者に委託し処理する。燃やせないごみ等は、大里広域市町村圏組合クリーンセンターに搬入する。関係法令に基づく浸出水・発生ガス・周辺地下水の環境分析を実施する。								
成果 ※何を求めるか		ごみ処分の円滑化を図る。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名	前年度決算額（円）			
		一般会計	4	衛生費	2	清掃費	2	塵芥処理費	ごみ処分関係事業	26,892,201
		一般会計	4	衛生費	2	清掃費	2	塵芥処理費	埋立施設維持管理事業	7,092,712
本事業の 主な業務		・櫛引水源水質分析業務委託					・清掃車両の維持管理			
		・車両の管理（燃料費・修繕）					・埼玉県清掃行政研究協議会負担金の支出			
		・一般廃棄物（ごみ）の処理					・清掃業務の統計報告			
		・清掃センター旧施設・最終処分場・櫛引水源管理業務委託					・許可業者（ごみ）の指導監督			
		・一般廃棄物（ごみ）の収集運搬及び処分業許可					・環境分析業務委託			
		・犬、猫等の死がい処理					・			

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画							
事業費	予算（現額）	34,532,000	38,680,000	40,850,000	44,295,000		
	決算額	32,077,773	33,984,913	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	2,745,604	2,674,536	3,100,000	3,100,000	
	一般財源	29,332,169	31,310,377	37,750,000	41,195,000		
人件費	従事職員数（人）	1.05	1.05	1.05	1.05		
	人件費相当試算※	8,263,035.00	8,410,674.00	8,778,945.00	8,778,945.00		
総事業費試算		40,340,808	42,395,587	49,628,945	53,073,945		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	市民等からの直接搬入受付台数	目標値	台							
		実績値		49, 175. 00	52, 375. 00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			直接搬入台数は予測できないため、目標値設定できない。/清掃センターからの報告						
	実績値の算出式									
成果指標 1	有害ごみの処分量	目標値	k g							
		実績値		53, 610. 00	44, 420. 00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			県内統一の契約であるため、目標値設定できない。 / 処理状況実績により						
	実績値の算出式									
成果指標 2	有害ごみの処理費用	目標値	千円							
		実績値		4, 168. 94	-					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			ごみの発生量は予測できないため、目標値設定できない。 / 埼玉県清掃行政研究協議会により (R5より-)						
	実績値の算出式									
成果指標 3	市民等からの直接搬入量	目標値	t							
		実績値		4, 878. 84	5, 042. 97					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			経済状況等により搬入量は変わるので、目標値設定できない。 / 清掃センターからの報告						
	実績値の算出式									
成果指標 4	塵芥車両等の受付台数	目標値	台							
		実績値		34, 992. 00	34, 439. 00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			ごみの発生量により搬入台数は変わるので、目標値設定できない。 / 清掃センターからの報告						
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	市民等からの直接搬入台数は昨年度より増加している。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	有害ごみの処分については、埼玉県清掃行政研究協議会と連携して適正に処分されている。
			評価者 係長 荻原 康裕

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	概ね適正に処理されている。
			評価者 係長 荻原 康裕

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和4年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	資源物等置場における各業務の委託化については、コストを抑え、且つ、市民の家庭ごみ搬入への影響が出ないよう、慎重に進めていく必要がある。
達成状況及び その効果	資源物置場における複数の業務の中で、委託可能な業務を精査し契約事務を行った。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	一般廃棄物関係事業	担当課	環境衛生課	担当係	業務係	管理番号	40212
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		資源物置場は、市民が不燃ごみ・資源物を直接搬入できる施設であり、受付業務については、シルバー人材センターへ委託している。その他の業務についても、危険を伴う業務について、専門業者へ委託した。					
		評価者	課長 加藤 昇				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和6年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	資源物置場における各業務の委託化については、コストを抑え、且つ市民の家庭ごみの搬入への影響が出ないよう、慎重に進めていく必要がある。
令和7年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	資源物置場における各業務の委託化については、コストを抑え、且つ市民の家庭ごみの搬入への影響が出ないよう、慎重に進めていく必要がある。

8. 評価指標グラフ

